

発表項目 (行事名)	令和元年度(2019年度)北海道青少年育成大会の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>次代を担う青少年の健全育成は、本道の未来を築くためには何よりも大切な取組であることから、道民意識の醸成を図り、地域における青少年育成活動の一層の推進を呼びかける場とするため、道と(公財)北海道青少年育成協会との共催により、北海道青少年育成大会を開催します。</p> <p>1 日時 令和元年(2019年)9月5日(木) 10:00~15:30</p> <p>2 場所 道民活動センター(かでの2・7) かでのホール (札幌市中央区北2条西7丁目)</p> <p>3 主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度北海道社会貢献賞(青少年健全育成功労者)表彰式 ・令和元年度北海道青少年基金事業顕彰表彰式 ・令和元年度「少年の主張」全道大会 ・記念講演(筑波大学人文社会系教授 土井 隆義氏) ・青少年の活動発表(札幌静修高等学校ダンス部) <p>※詳細については別紙のとおり</p>		
参考	<p>■ <u>北海道社会貢献賞(青少年健全育成功労者)表彰式</u> 青少年の健全育成活動等を10年以上実践し、顕著な功績のある方に贈呈する知事表彰。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の受賞者14名については別紙のとおり <p>■ <u>「少年の主張」全道大会</u> 全道の中学生に自分の主張を正しく伝える力を身につけてもらうことなどを目的に実施し、各総合振興局、振興局地区代表及び札幌市代表の中学生による発表を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度発表者16名については別紙のとおり ・本年度も例年の最優秀賞、優秀賞(3名)を設定。 		
報道(取材)に当たってのお願い	大会の前後を通じて、積極的な報道をお願いします。 ※自らの主張を一生懸命発表する中学生の姿を積極的に取り扱っていただきたいと考えております。		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	各総合振興局・振興局記者クラブ	
担当 (連絡先)	環境生活部 暮らし安全局 道民生活課 青少年グループ 主幹 林 由美子 電話 011-231-4111(内24-156) ダイヤルイン 011-204-5663		

令和元年度（2019年度）北海道青少年育成大会

日 時：令和元年(2019年)9月5日(木) 10:00～15:30

会 場：かでの2・7 かでのホール(札幌市中央区北2西7)

- 1 開 会 主催者挨拶 10:00～
(公財)北海道青少年育成協会会長 竹谷 千里
北海道環境生活部長 築地原 康志
- 2 令和元年度北海道社会貢献賞表彰式 10:05～
(贈呈者：北海道環境生活部長 築地原 康志)
- 3 令和元年度北海道青少年基金事業顕彰表彰式 10:20～
(贈呈者：(公財)北海道青少年育成協会会長 竹谷 千里)
- 4 来賓祝辞 10:30～
北海道議会環境生活委員長 荒 当 聖 吾 氏
- 5 令和元年度「少年の主張」全道大会 10:40～
- 6 記念講演 13:10～
講師：筑波大学人文社会系教授 土井 隆義氏
演題：「つながりの牢獄ー青少年の人間関係をめぐる現状と課題ー」
- 7 青少年の活動発表 14:30～
(札幌静修高等学校 ダンス部)
- 8 「少年の主張」審査結果の発表・表彰・講評 15:00～
- 9 閉 会 15:30

令和元年度社会貢献賞（青少年健全育成功労者）受賞者功績概要

No.	氏名	年齢	住所	主な功績
1	うすい はるお 碓氷 晴夫	77	札幌市 中央区	平成14年から札幌市本府地区青少年育成委員会委員として、また平成19年からは同会長に就任し、「夏季レクリエーション」事業を展開するなど、地域の子どもの見守りやパトロール、地域で行われるさまざまな行事の中心的・指導的役割を担っているほか、平成14年から札幌市中央区青少年育成連絡協議会委員として中央区新成人のつどいを企画運営するとともに、平成30年からは札幌市本府地区交通安全実践会会長として活動し、青少年の健全育成と環境づくりの推進に多大な貢献をしている。
2	ふわ まなぶ 不破 學	69	札幌市 北区	平成元年から現在までの30年以上にわたり、札幌市新川地区TRY子ども会育成指導者として、また平成2年から21年間、札幌市新川地区青少年育成委員会委員として地域に根ざした活動に携わってきたほか、札幌市北区青少年育成委員会連絡協議会委員も歴任し、平成21年からは札幌方面北警察署少年捕導員として小・中学校区のパトロールや見守り活動をはじめ、「青少年を見守る会」や「子ども110番の店」の登録活動を推進するなど、青少年の健全育成と環境づくりの推進に多大な貢献をしている。
3	たかぎ あやこ 高木 綾子	72	札幌市 東区	平成2年から札幌市伏古本町地区青少年育成委員会委員として、また平成20年からは同会長に就任し、地域の子どもの見守りやパトロール、地域で行われるさまざまな行事の中心的・指導的役割を長年にわたり担っているほか、平成29年からは札幌市東区青少年育成連絡協議会議長、札幌市青少年育成委員会連絡協議会委員として活動し、各関係団体の行事に参加するなど、区並びに札幌市において、青少年の健全育成と環境づくりの推進に多大な貢献をしている。
4	すぎき よしまつ 壽崎 良松	74	札幌市 白石区	平成4年に札幌市白石中央スポーツ振興会に加入して以来、平成12年には同事務局長に就任し、平成25年からは同会長として現在に至るまで活動するとともに、平成4年から24年間の長きにわたり、札幌市スポーツ推進委員として青少年の体力向上や健康増進に寄与したほか、少年少女ふれ愛スポーツ交流大会の企画・運営に従事し、多くの交流会やスポーツ指導を展開するなど、青少年の健全育成と環境づくりの推進に多大な貢献をしている。
5	みなみ たかこ 南 孝子	79	札幌市 厚別区	平成11年から現在までの20年以上の長きにわたり、札幌市厚別中央地区青少年育成委員会委員並びに厚別区若駒子ども会育成指導者として、昼夜の防犯パトロールや登下校時の見守り活動を推進するほか、青少年育成委員会や町内会、子ども会で共催のスノーフェスティバル、三世代交流百人一首大会などの企画・運営に携わり、札幌市厚別区全体での地域活動にも積極的に参加するなど、青少年の健全な育成と環境づくりの推進に多大な貢献をしている。

No.	氏名	年齢	住所	主な功績
6	よしみず さだえ 吉水 定江	77	札幌市 豊平区	平成2年から現在までの30年以上の長きにわたり、札幌市平岸地区青少年育成委員会委員として、平岸地区の子どもたちに関わるスポーツや文化の多くの事業を展開するほか、平成21年から現在まで平岸地区町内会連合会青少年育成副部長並びに部長を歴任して、YOSAKOIソーラン子どもチームの結成やカルタ大会の開催、「青少年を見守る店」の活動に携わるなど、地域の青少年の非行防止に尽力するとともに、青少年の健全な育成と環境づくりの推進に多大な貢献をしている。
7	つかもと よしみ 塚本 芳美	71	札幌市 清田区	平成11年から札幌市平岡地区青少年育成委員会委員として、また平成26年からは同副会長に就任し、「青少年を見守る店」事業を推進して協力店舗の拡充に努め、「清田区少年少女なわとび大会」の企画・運営に携わり、地域の子どもの見守りやパトロール、地域で行われるさまざまな行事の中心的・指導的役割を担っているほか、平岡少年消防クラブの設立に携わり、同クラブ副部長として防災指導等を推進するなど、青少年の健全育成と環境づくりの推進に多大な貢献をしている。
8	たけなが としゆき 武永 俊行	71	札幌市 南区	平成4年から札幌市南区定山溪地区青少年育成委員会委員として活動し、平成10年からは会長に就任して交流事業の企画立案、運営に携わる一方で、平成10年から現在に至るまで、札幌市南区青少年育成委員会連絡協議会並びに定山溪連合町内会で事業部長、育成部長として円滑な事業推進のみならず、連合町内会と定山溪小学校の合同運動会を企画・運営するなど多くの事業を通して、青少年の健全育成と環境づくりの推進に多大な貢献をしている。
9	たかはし みよこ 高橋 美代子	65	札幌市 西区	平成6年から札幌市山の手地区青少年育成委員会委員として、また平成17年には同会長に就任するとともに、平成8年から札幌市西区山の手さくら子ども会の育成者、平成14年からは札幌市西区青少年育成委員会連絡協議会委員として地域に根ざした活動を推進し、平成23年からは札幌市立山の手小学校評議委員として、地域ぐるみで子どもたちを育む環境づくりに寄与するなど、青少年の健全な育成と環境づくりの推進に多大な貢献をしている。
10	はしもと ひろこ 橋本 弘子	66	札幌市 手稲区	平成6年から札幌市富丘西宮の沢地区青少年育成委員会委員として活動し、平成17年からは副会長に就任して交流事業の企画立案、運営に携わる一方で、平成11年から、札幌市西宮の沢地区体育振興会副会長、平成26年からは同会会長として、さらに平成26年から札幌市手稲区体育振興会連絡協議会会長、副会長として子ども達にミニバレーの普及活動に携わるとともに、スポーツレクリエーションを企画・運営するなど多くの事業を通して、青少年の健全育成と環境づくりの推進に多大な貢献をしている。

No.	氏名	年齢	住所	主な功績
11	くどう あきひろ 工藤 昭博	74	小樽市	昭和50年から小樽市花園西3丁目町内会役員、平成8年からは小樽市地域子供会育成連絡協議会委員として密着した活動に従事する一方で、平成19年からは北海道青少年育成運動推進指導員、平成26年から3年間、後志管内青少年育成運動推進委員協議会会長を務め、地域の枠を超えた青少年の非行防止活動に尽力するとともに、小樽市との共同事業であるジュニアリーダー養成研修指導に携わるなど、青少年の健全な育成と環境づくりの推進に多大な貢献をしている。
12	こばやし とよこ 小林 豊子	74	旭川市	平成11年から旭川市新旭橋町内会青少年育成部部長、平成13年からは旭川市新旭川地区市民委員会青少年育成部部長として、親子ハイキングやそば打ち体験教室等の各種行事を企画・運営する一方で、平成21年からは旭川市内全64地区の青少年育成部長や役員で組織する旭川市青少年育成部連絡協議会の理事に就任して、監事や副会長を歴任し、地区の枠を超えてリーダー研修事業や青少年の非行防止活動を地域一帯となって推進するなど、青少年の健全な育成と環境づくりの推進に多大な貢献をしている。
13	たにぐち かおる 谷口 香	71	旭川市	昭和62年に旭川市末広北新町内会青少年育成部協力員に就任し、平成4年からは旭川市末広中央地区市民委員会青少年育成部役員として、親子ハイキングやそば打ち体験教室等の各種行事を企画・運営する一方で、同じく平成4年からは旭川市内全64地区の青少年育成部長や役員で組織する旭川市青少年育成部連絡協議会の理事に就任し、地区の枠を超えてリーダー研修事業や青少年の非行防止活動を地域一帯となって推進するなど、青少年の健全な育成と環境づくりの推進に多大な貢献をしている。
14	しおざき まさじ 塩崎 正二	59	帯広市	平成15年から帯広市青少年育成者連絡協議会理事として、子ども会リーダー研修会や年間を通じて多くの体験活動を行う「あすかの会」などの各種事業の企画・運営に携わっているほか、小学校や中学校における「おやじの会」のメンバーとして各種行事の中心的・指導的役割を長年にわたり担い、地区の枠を超えてリーダー研修事業や青少年の非行防止活動を地域一帯となって推進するなど、青少年の健全な育成と環境づくりの推進に多大な貢献をしている。

令和元年度「少年の主張」全道大会発表者

発表順	振興局等名	学校名	学年	氏名	テーマ
1	石狩	江別市立野幌中学校	3	イガラシ サヤカ 五十嵐 彩佳	夢をかなえる
2	札幌1	札幌市立宮の森中学校	3	キシキト ケイスケ 岸本 慶介	「アウトドア、そして家族」
3	空知	岩見沢市立清園中学校	2	タニウチ カエデ 谷内 楓	「いじめと僕の夢」
4	檜山	江差町立江差中学校	3	サトウ シホリ 佐藤 志保里	強い意志をもって
5	胆振	登別明日中等教育学校	3	ショウジ アイカ 小路 藍花	「命をいただく」ということ
6	宗谷	礼文町立香深中学校	3	スズキ タスク 鈴木 祐	なりたい自分になるために
7	日高	新冠町立新冠中学校	3	ヤノ ナズナ 矢野 なずな	小さな一歩
8	根室	根室市立柏陵中学校	3	ドキ ラグ 土岐 羅求	さびしさを大切に。
9	オホーツク	美幌町立北中学校	3	ヤマモリ ハヤト 山森 隼人	思いやりの先に
10	釧路	白糠町立庶路学園 ※小中一貫	9	セキネ リオ 関根 璃音	あいさつの力
11	上川	旭川市立神居東中学校	3	オカノ ミユ 岡野 心優	当たり前を常識に
12	留萌	苫前町立古丹別中学校	2	サイトウ ナツカ 斉藤 夏華	なりたい自分になるために
13	渡島	北斗市立茂辺地中学校	2	フサダ ミク 房田 心玖	過去を乗り越えて
14	後志	喜茂別町立喜茂別中学校	3	ホリ ヌレハ 堀 来羽	十年後の私へ
15	十勝	帯広市立帯広第四中学校	3	ヨシダ チアキ 吉田 千玲	普通
16	札幌2	札幌市立星置中学校	3	ノツキ アズミ 野月 あずみ	情報発信の大切さ

令和元年度「少年の主張」全道大会について

1 目的

少子高齢化、国際化、情報化の急速な進展等、社会や環境が大きく変化する現代社会にあって、次代を担う少年には、心身ともに健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける、健やかな成長が求められている。

そのためには、広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などを身につけることが大切であることから、少年が社会に向けての意見、未来への希望などを発表してもらう機会を設け、少年の健全育成及び非行防止に対する道民の理解を深める契機となることを目的とする。

2 共催

北海道、（公財）北海道青少年育成協会、独立行政法人国立青少年教育振興機構

3 対象

北海道内に在住の中学生

4 実施の概要

(1) 実施方法

大会形式により、各総合振興局・振興局地区代表者及び札幌市代表者により自らの主張の発表を行う。

ア 発表者の中から最優秀賞、優秀賞3名の上位4名を選定する。

イ 最優秀者を全国大会出場者候補として、独立行政法人国立青少年教育振興機構に推薦する。

(2) 発表者

別紙のとおり

(3) 発表内容

- ・社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など。
- ・家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友だちとの関わりなど。
- ・テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など。

※5分程度（400字原稿用紙4枚程度）にまとめて発表

(4) 日時

令和元年(2019年)9月5日(木) 10:40~15:30

(5) 場所

道民活動センター（かでの2・7）

札幌市中央区北2条西7丁目

(6) 表彰

最優秀賞、優秀賞3名に対して賞状及び副賞を授与する。